十九の春

本調子

合合乙　老　四　合工四　工　四　合　四　合　四

わたしが

あなたに　ほれたのは

四上中　上　四　合四工　五　工　合　工　五　工

ちょうど　じゅうくのはるでした

合　四　合　四　四上中　工　合　中〇上　四上四

いまさらりえんと

合　四　上　四　工〇五　合　五　五七五　工　合

ゆうならばもとの

中上四　乙　合　〇　合　乙老四　合中合　中　合

じゅうくにしておくれ

上中工　合〇工〇中〇上　四上四　合工四　工　四

一、わたしがあなたにに惚れたのは
　ちょうど十九の春でした
　いまさら離縁と言うならば
　もとの十九にしておくれ

二、もとの十九にするならば
　庭の枯れ木を見てごらん
　枯れ木に花が咲いたなら
　十九にするのもやすけれど

三、見捨て心があるならば
　早くお知らせくださいね
　年も若くあるうちに
　思い残すな明日の花

四、一銭二銭の葉書さえ
　千里万里と旅をする
　同じコザ市に住みながら
　会えぬ我が身のせつなさよ

五、主さん主さんと呼んだとて
　主さんにゃ立派な方がある
　いくら主さんと呼んだとて
　一生忘れぬ片思い

六、奥山住まいのウグイスは
　梅の小枝で昼寝して
　春が来るよな夢を見て
　ホケキョホケキョと鳴いていた